

信楽高原鐵道株式会社の経営再生にかかる進捗状況等について

1 鉄道事業再構築実施計画について

○H25.3.4 国土交通大臣が鉄道事業再構築実施計画を認定

【鉄道事業再構築実施計画】

申請者	甲賀市、信楽高原鐵道、滋賀県
計画内容	① 事業構造の転換(甲賀市:鉄道施設を保有し施設維持管理費用を負担、信楽高原鐵道:列車を運行)【上下分離方式】 ② 地域による利用促進策の実施
実施期間	平成25年度から平成34年度までの10年間
実施効果	① 信楽高原鐵道における鉄道施設等の維持管理費用の負担軽減 ② 地域と連携した積極的な増収施策等の展開による、収支均衡と安全で安定した運行の維持

○H25.4.1 「公有民営方式」の上下分離による運行開始

2 旅客輸送実績

() 内は1日当たり換算

	平成30年度(2018)	令和元年度(2019)	前年度比
通学定期	237,480人 (650人)	228,240人 (623人)	△9,240人 (△27人)
通勤定期	59,280人 (162人)	55,860人 (152人)	△3,420人 (△10人)
定期外	119,860人 (328人)	153,488人 (419人)	33,628人 (91人)
合計	416,620人(1,140人)	437,588人(1,194人)	20,968人(54人)

※ 少子化による通学生徒数、通勤利用の減、新型コロナウイルスの影響等により、定期利用者数が減少

※ 令和元年度は、スカーレットラッピング列車の運行をはじめ、観光事業者との連携により定期外利用者数が増加

3 経営状況

(千円)

	平成30年度(2018)	令和元年度(2019)	前年度比
経常収入	162,937	170,201	7,264
うち旅客収入	85,641	94,978	9,337
経常費用	158,146	168,053	9,907
経常利益	4,791	2,148	△2,643

※ 上下分離方式への移行後、7年連続で経常黒字を達成

4 令和元年度の主な取組について

○安全な輸送サービスの提供

【甲賀市】	車両検査の実施、枕木交換、橋りょう塗装 紫香楽宮跡駅、玉桂寺前駅ホーム改良工事の実施
【信楽高原鐵道】	旅客輸送業務 鐵道施設等の保守・維持管理業務

○経営改善・合理化の推進

【甲賀市】	鐵道事業再構築実施計画に基づく着実な実施
【信楽高原鐵道】	営業費の経費節減

○鐵道の利用促進

【信楽高原鐵道】	甲賀市「スカーレットプロジェクト推進事業」と連携した観光誘客 「スカーレット」ラッピング列車の運行 陶芸の森「リサ・ラーソン展」と連携した観光誘客 ふれあいハイキング（JR西日本との連携） 「陶製干支切符」の販売、田んぼアートと連携した乗車券販売 庭園デザイナー石原和幸氏による雲井駅ガーデニングイベント サンタ列車の運行
----------	---



【「スカーレット」ラッピング列車】



【うしかい田んぼアート】

5 令和2年度の主な取組について

【甲賀市】	車両検査、枕木交換、軌道改良、橋りょう塗装、駅放送案内設備の更新
【信楽高原鐵道】	旅客輸送業務、鐵道施設等の保守・維持管理業務 鐵道の利用促進 <ul style="list-style-type: none">・ 陶芸の森「リサ・ラーソン展」と連携した観光誘客・ 「スカーレット」をテーマとした記念館の運営・連携と観光誘客・ 観光客向けのノベルティやグッズ開発・ SHINOBI-TRAIN の運行、県内輸送機関と連携した周遊券の販売・ 陶器まつりと連携した観光誘客・ 牛飼地区での「田んぼアート」事業による沿線景観の創出